

中国銀行
ソーシャルボンド・フレームワーク

1. 調達資金の使途

本ソーシャルボンド・フレームワークに基づいて発行するソーシャルボンドを通して調達した資金を、以下の適格クライテリアを満たす新規および既存の融資又は支出に充当し、発行日から遡って過去 1 年以内に実行された融資案件に充当します。

<ソーシャル適格クライテリア>

雇用創出/維持

新型コロナウイルス感染症の流行により、事業に直接的または間接的に影響を受けているお客さまへの融資

A) 「中銀新型肺炎対策緊急特別融資」

新型コロナウイルス感染症の流行により、事業に直接的または間接的に影響を受けている法人または個人事業主のお客さまを対象とした融資。資金使途は運転資金または設備資金（設備資金の場合、感染症対策にかかる設備導入・更新に限る）

B) 「(各都道府県制度融資) 新型コロナウイルス感染症対応資金」

各都道府県で定められた新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえた危機対応融資（いわゆる実質無利子・無担保融資を含む）。

※実質無利子・無担保融資

売上高（前年同月対比等）が一定以上減少した中小・小規模事業者、個人事業主に対し、国が制定した金利補助（最長 3 年）や保証料補助を活用し、通常より金利や保証料が軽減された融資。

C) 「資本性ローン」

新型コロナウイルス感染症の流行により、一時的に経営環境が悪化した法人のお客さまを対象。実質的な自己資本の増強に資する借入である資本性ローンを通じて、お客さまの資金繰り安定化や財務基盤の強化に貢献する融資。

D) その他

上記に準じた新型コロナウイルス感染症に対応する融資

2. 評価・選定プロセス

<プロジェクトの選定における適格クライテリアの適用>

所管部がコロナ禍による企業支援のための融資商品を開発し、リスク管理部門や役員決裁等の行内プロセスを経る。ソーシャルボンドの対象として適格とする判断は、総合企画部が評価し、最終決裁等は総合企画部長が行います。

<SDGsの達成にむけて>

中国銀行では、従来から地域社会の課題やお客さまの課題解決に対して本業を通じた地域貢献や本業を超えた幅広い社会貢献を実施してまいりました。

2018年10月には、企業活動をおこなうにあたり社会の一員として必ず守らなければならない基本的な事項をまとめ「企業行動規範」にSDGsへ対応していく内容を追加し、2020年3月にSDGsの達成に貢献すべく、地域の社会・環境課題に対する取組方針をまとめた「ちゅうぎんSDGs宣言」を制定しています。

2020年4月よりスタートした中期経営計画「未来共創プラン ステージⅡ」では、骨子である「5つの柱」のうち第一の柱を「地方創生、SDGsの取組み強化」としました。持続可能な地域社会の実現に向けて、「地方創生やSDGsへの取組み」を強化することが地域のリーディングバンクとしての使命であり、本中期経営計画ではこれまで以上にSDGsの達成に向けた取組みを加速させていく方針です。

ちゅうぎんSDGs宣言

- 中国銀行グループは、「地域・お客さま・従業員と分かち合える豊かな未来を共創する」という長期経営計画の長期ビジョンのもと、事業活動を通じてSDGsの達成に貢献し、地域社会とともに持続的に成長をしていくことを目指し、次に掲げる地域の社会・環境課題に取り組んでいくことを宣言します。

重点課題	主な取組み(取組み予定を含む)	対応する目標
地域経済・社会 地域経済とコミュニティの活性化に貢献する	<ul style="list-style-type: none"> 地域応援活動の高度化 ソリューションの拡充 スタートアップ支援 インバウンド、移住・定住促進 	
高齢化 高齢者の安心・安全な生活を支える	<ul style="list-style-type: none"> 終身の資産運用・管理ニーズへの対応 資産承継の支援 医療・介護事業者向けの支援 	
金融サービス より良い生活をおくるための金融サービスを提供する	<ul style="list-style-type: none"> NISA等による計画的な資産形成促進 教育ローン、シニアローン等による幅広い対象者への支援 金融リテラシー教育の実施 	
ダイバーシティ ダイバーシティ・働き方改革を推進する	<ul style="list-style-type: none"> 女性活躍に向けたモチベーション向上と長期的なキャリア形成 多様な人財の職域拡大等による活 働き方改革の促進 ちゅうぎん保育所プロジェクト 	
環境保全 持続可能な環境の保全に貢献する	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー事業への取組み推進 環境関連ビジネスへの支援 環境負荷の軽減(ペーパーレス化等) 「瀬戸内海を守り隊」プロジェクト 	

<社会リスクを低減するためのプロセス>

① 反社会的勢力への対応

中国銀行は、法令や行内規定などはもとより、社会的に求められている行動規範や倫理的行動を含めた法令等遵守規程を定めています。また、反社会的勢力への対応として、役職員にとっての具体的な手引書であるコンプライアンスマニュアルの中

で「反社会的勢力との関係遮断にかかる基本方針」を制定し、反社会的勢力との一切の関係を遮断し断固として排除することを徹底しています。

② 利益相反管理方針

中国銀行は、利益相反管理に関する基本方針を定め、お客さまと中国銀行グループ（中国銀行および中国銀行グループ関連会社）の間ならびに中国銀行グループのお客さま相互間において、お客さまの利益が不当に害されることのないよう、利益相反のおそれのある取引を適正に管理し、また組織全体に周知し徹底しています。

③ クレジット・ポリシー

中国銀行は、コーポレート・ガバナンスに関する基本方針の中で、サステナビリティへの対応として、社会および環境問題等の持続可能性を巡る課題について積極的かつ能動的に取り組むことを定めており、融資業務はそのための重要な役割を担っていると考えています。

そうした中、中国銀行では融資規程を定め、融資先は原則として性行、業態、資産などが良好であり、かつ将来性のある先であること、融資金は原則として地方産業の発展ならびに地域住民の生活向上に寄与する資金とすることを明確に定め、融資業務を通じて持続可能な社会の発展に貢献しています。

3. 調達資金の管理

ソーシャルボンドの調達資金は、所管部が数値をまとめ、総合企画部が所定の内部プロセスに従い管理します。総合企画部は年に1度、ソーシャルボンドの発行残高の総額が直近期末の適格ローン残高を上回っていないことを確認し、その確認結果について総合企画部長の承認を得ることとします。

また、適格ローン残高がソーシャルボンドの発行残高の総額を下回った場合は、下回った額と等しい額（未充当資金）を現金または現金同等物により管理します。

4. レポーティング

<資金充当状況レポーティング>

中国銀行は資金充当状況につき、ソーシャルボンドの残高が存在する限り、以下の項目を年1回ホームページで開示予定です。また、充当完了後も、充当状況に重大な変化があった場合には、その旨開示する予定です。

- 適格クライテリアのカテゴリ毎の充当額、融資件数
- 未充当金額
- ソーシャルボンドの残高

<インパクトレポーティング>

中国銀行はソーシャルボンドの残高が存在する限り、以下の指標を年 1 回ホームページで開示予定です。

	対象とする投融資	レポーティング項目
雇用創出・維持	・「中銀新型肺炎対策緊急特別融資」 ・「(各都道府県制度融資) 新型コロナウイルス感染症対応資金」 ・「資本性ローン」 ・その他上記に準じた新型コロナウイルス感染症に対応する融資	・適格ローン残高 ・融資件数

以上